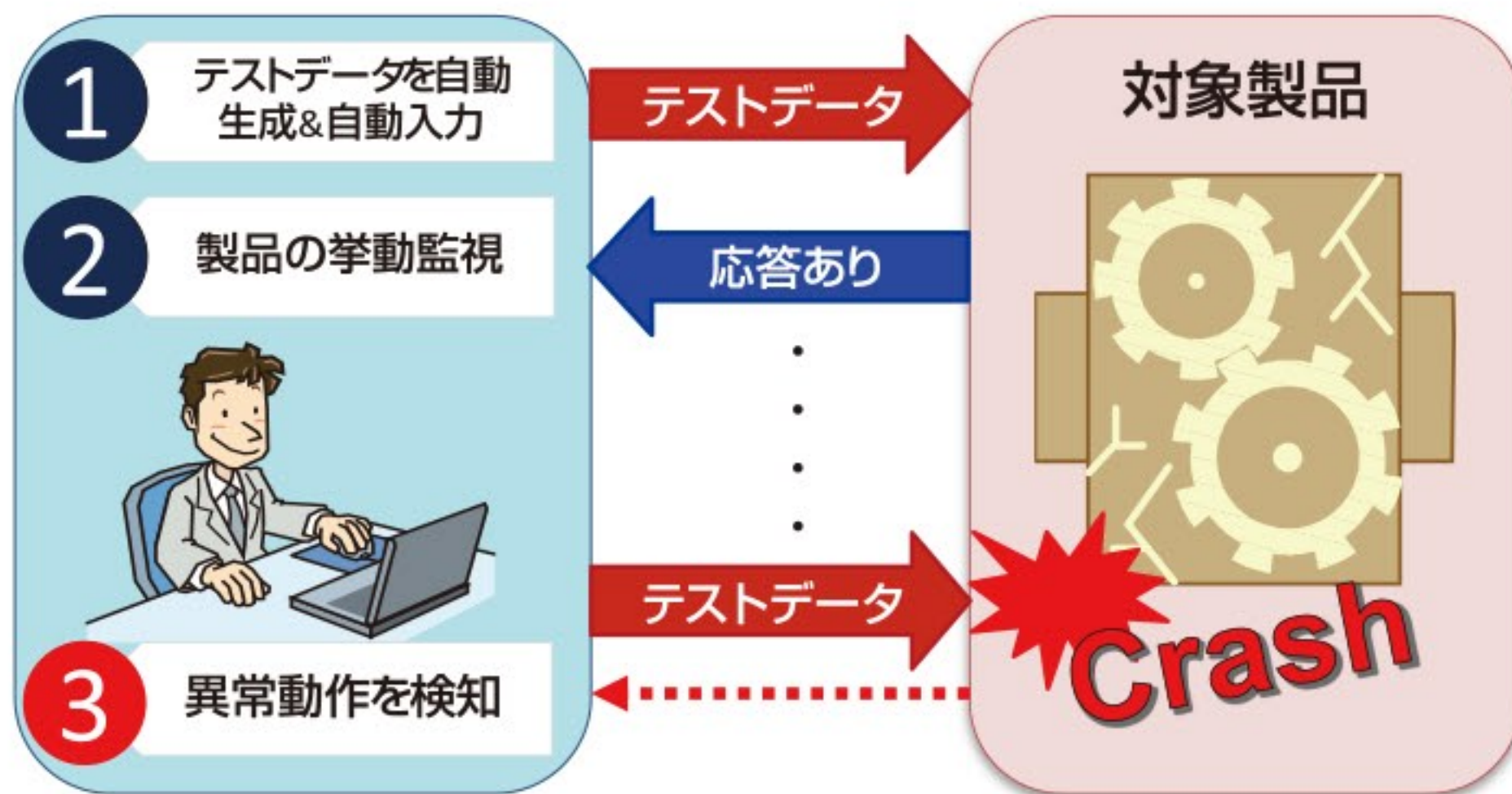


# 製品開発にファジングの導入を

～ 製品出荷前に未知の脆弱性をみつけよう ～

## ファジングとは

ソフトウェアや組込み機器などの製品に、**問題が発生しそうなテストデータを入力し、製品の挙動を監視して脆弱性を検出するテスト**です。



## ファジングの効果

ファジングは高度な知見や技術力がなくとも、一定の成果を上げることができます。

### ・製品の品質向上(バグや脆弱性を低減)

従来の機能テスト等に、ファジングを追加すると、バグや脆弱性の検出から修正に繋げることができます。その結果、製品の品質向上が期待できます。

### ・テストの効率化(労力と工数削減)

ツールを利用したテストの自動化や、テストデータの再利用により、工数削減につながります。

## ファジングの活用

ネットワークに繋がる機器(IoT機器、情報家電等)や、ウェブアプリケーション等の製品開発に活用できます。



製品開発でファジングを活用することで、**製品出荷後に起こり得る、脆弱性による損失を低減**できます。

製品出荷前の検査や脆弱性診断サービスとして、ファジングを活用している日本企業が増えています。

注目



## IPAのファジングに関するコンテンツの紹介

経営者 管理職 向け	なぜ脆弱性対策が必要か(YouTube)	「組込み製品の脆弱性が及ぼす影響 ～製品開発企業はどうすれば～」
	ファジング活用・導入を検討する	「製品の品質を確保する『セキュリティテスト』に関するレポート」
開発・検査 エンジニア 向け	ファジングを見る(YouTube)	「組込み製品の脆弱性対策に ～知ってみよう ファジング～」
	ファジングを知る	「ファジング活用の手引き」
	ファジングを試す	「ファジング実践資料」、「ファジング実践資料(UPnP編)」
	ファジングのテストデータを知る	「ファジング実践資料(テストデータ編)」
	ファジングの活用例を知る	「スマートテレビの脆弱性検出に関するレポート」
	IPA製ファジング支援ツール	「JPEGテスト支援ツール iFuzzMaker」

詳細はこちらから



<https://www.ipa.go.jp/security/vuln/fuzzing.html>